

2022年度 一般社団法人 溶接学会 九州支部 総会資料

2022年5月28日～6月3日（書面回議）
一般社団法人 溶接学会 九州支部

2021年度（2021年3月1日から2022年2月28日まで）事業報告

1. 事業

1.1 2020年度 溶接学会九州支部研究発表会

主 催：溶接学会九州支部

日 時：2021年8月27日（金）13:00～16:30

場 所：Web会議

参加者：30名

研究発表：8件（研究題目と発表者（○：講演者）は下記の通り）

- 1)抵抗スポット溶接を用いた差厚L字継手における引張強度支配因子の解明
○平山 響（九工大院），長沢 瑞樹（九工大；現 I-PEX），北村 貴典・秋山 哲也（九工大）
- 2)アークスタッド溶接を応用した異形棒鋼の突き合わせ接合に関する研究
根本 凌汰・津村 卓也・眞喜志 隆（沖縄高専），羽地龍志・照屋駿（沖縄県工業技術センター），村吉政勇・金城豊（村吉ガス圧接工業）
- 3)板の変形抑制による抵抗スポット溶接重ね継手の引張せん断強度の高強度化
今村 光宏（九工大院），川端 智也（九工大；現 京セラ），岩谷 航希（九工大院），北村 貴典・秋山 哲也（九工大），植村 篤郎（九工大院；現 日本製鉄），渡邊 海香（九工大；現 東工大院）
- 4)In718 三次元積層造形材のクリープ劣化挙動に基づく寿命改善
高橋 雅士・横山 省吾・木下 篤志（西日本工大），増尾大慈（金属技研），伊藤和博・山本啓（阪大）
- 5)オーステナイト系ステンレス鋼溶接部の耐食性や残留応力の改善に関する溶接後熱処理に関する検討
中野 光一（高田工業所）
- 6)デジタル画像相関法を用いた疲労亀裂先端の両振り塑性域寸法の測定に関する検討
○尾島 直樹（九大院），村上 幸治・後藤 浩二（九大）
- 7)レーザフォーミングにおける熱源の違いが変形に及ぼす影響のFEM解析による検討
○伊藤 良唯（九工大院），吉武 卓真（九工大院；現 ローム），北村 貴典・秋山 哲也（九工大）
- 8)レーザ・アークハイブリッド溶接における横向水平溶接の板厚範囲拡張に関する検討
中田 智也（九大院），内村 友哉（九大），上村 崇杜（九大院），後藤 浩二（九大）

1.2 刊行

出版物名：溶接学会九州支部講演論文集、第18号

2. 会務

2.1 2021年度 商議員会

2021年3月4日（Web会議）

2021年5月18～24日（書面回議）

2021年8月27日（Web会議）

2021年12月24～27日（書面回議）

2022年1月27～28日（書面回議）

2.2 表彰

商議員の書面審議にて、以下の本部への推薦・表彰を審議

2021年度溶接学術振興賞（推薦）：1名

2021年度溶接技術奨励賞：2名

2021年度溶接技術普及賞：2名

2021年度溶接学会奨学賞：2名

2021年度九州支部奨学賞：2名

2020年度九州支部奨学褒賞：4名(2020年度新設だが表彰時期の関係で今回報告)

2020年度推薦の本部表彰（奨学賞以外は2021年度総会にて表彰）

溶接学術振興賞：里中 忍

溶接技術奨励賞：安部 正光，中野 正大，服部 和徳

溶接技術普及賞：釘宮 昌二，花田 哲章

溶接学会奨学賞：原 武蔵，堀谷 祐雄

2.3 2021年度 通常総会

日 時：2021年5月27日～6月2日（書面回議）

出席者：146名

2.4 表彰式

COVID-19 影響のため中止し，個別に授与した。

【注記】

2020年度支部総会の議決により、決算及び予算は支部長からの「報告事項」とし、支部監事による定例監査は廃止のため、以下には報告事項として示す。

[廃止とした理由]

- 支部会計（口座残高証明の提出を含む）に関しては、全て本部に報告し、本部の税理士等の監査を経て、本部総会において承認している。
- 数値詳細は本部総会の資料に加え、学会誌においても公表されている。
- 会計に不明瞭な動きがあった場合に備え、支部監事の役職は引き続き設置し、商議員及び支部会員から指摘があった場合、支部監事により不定期の査察を行うように支部内規を改正している。

2021年度（2021年3月1日～2022年2月28日）決算報告

(1) 収入の部

明 細	金額（円）
前年度繰越金	3,391,489
支部交付金	150,000
利息（4月1日：14円，10月1日：15円）	29
収入合計	150,029
合 計	3,541,518

(2) 支出の部

明 細	金額（円）
残額証明手数料*1	1,040
通信費	10,430
2020年度支部奨学賞表彰楯*2	19,690
2020年度溶接技術奨励賞副賞*3	16,335
2021年度支部奨学賞 賞状ケース	2,682
（研究発表会）講演論文集印刷費*4	0
（商議員会）会議費*5	0
（支部総会，研究発表会，商議員会）懇親会*6	0
賞状用紙代*7	3,080
溶接研究会 会議費*8	0
支出合計	53,257
次年度繰越金	3,488,261
合 計	3,541,518

【注記】

- *1：2019年度分立替処理日時が3月にずれ込んだため、2019および2020年度分を2021年度にまとめて計上。
- *2：支払い日時が3月にずれ込んだため、2021年度に計上。2021年度からは楯を廃止し、賞状ケースに変更。
- *3：副賞は2名分まで本部負担。3名受賞のため、1名分を支部負担。
- *4：研究発表会講演論文集はpdf配布のみとしたため、印刷費は不要。
- *5：商議員会は書面回議で実施したため、会議費は不要。
- *6：未開催。
- *7：研究発表会優秀学生表彰，支部奨学賞，支部優秀学生表彰
- *8：未開催。

2022年度（2022年3月1日～2023年2月28日）予算案

(1) 収入の部

明 細	金額（円）
前年度繰越金	3,488,261
支部交付金	150,000
銀行利息	30
研究活動事業収益	20,000
その他事業収益	40,000
収入合計	210,030
合 計	3,698,291

(2) 支出の部*

明 細	金額（円）
残額証明手数料*1	1,100
旅費交通費	60,000
消耗品費	5,000
印刷製本費	150,000
表彰関係費	53,000
諸謝金	20,000
会場費	20,000
会議費	100,000
支出合計	408,000
次年度繰越金	3,290,291

*費目呼称を本部会計の項目に一致させた。また、コロナ禍以前の活動状況を考慮して諸経費を計上した。

2022年度（2022年3月1日から2023年2月28日まで）活動計画

1. 事業

1.1 2022年度溶接学会九州支部研究発表会

日時： 2022年9月1日

会場： 九州大学伊都キャンパス（対面・Web併用会議）

研究発表 15件程度

参加者：30名程度

1.2 溶接研究会

日時： 2023年1月（予定）

会場： 未定(Web会議とする可能性有)

研究発表 5件程度

参加者：20名程度

1.3 刊行

出版物名：溶接学会九州支部講演論文集，第19号

2. 会務

2.1 2022年度商議員会

[第1回] 2022年3月23日（Web会議）

[第2回] 2022年5月または6月（予定）（書面回議）

[第3回] 2022年9月1日（対面・Web併用会議）

以降，必要に応じてWeb会議にて実施.

2.2 総会

日時：2022年6月（書面回議）

2.3 表彰式

（式は中止し，受賞者に表彰状等を送付.）

審議・報告事項

【審議事項】

(1) 2022 年度活動計画の承認について

【報告事項】

(1) 2021 年度決算及び 2022 年度予算（2022 年度本部総会にて承認済み）

(2) 2021 年度支部研究発表会

9 月 27 日（金）に福岡市（九州大学伊都キャンパス）で開催。対面及び Web 会議のハイブリッド方式での実施。

（参考：過去の支部総会・研究発表会の開催地）

2020, 21 年度	Web 会議
2019 年度	北九州（北九州国際会議場）
2018 年度	北九州（九州工業大学 百周年中村記念館）
2017 年度	北九州（北九州国際会議場）
2014～2018 年度	北九州（九州工業大学 百周年中村記念館）
2013 年度	長崎（長崎総合科学大学）
2012 年度	鹿児島（鹿児島大学）
2011 年度	熊本（熊本大学黒髪キャンパス）
2002～2010 年度	福岡（九州大学箱崎キャンパス）
2001 年度	熊本（熊本大学工学部附属工学研究機器センター）
2000 年度	鹿児島（鹿児島県工業技術センター）

(3) 各種表彰について

推薦時期に支部長より照会するので、適宜推薦をお願いしたい。

[支部から推薦し、本部にて授賞者決定]

溶接学会フェロー

溶接学術振興賞（各支部から 1 名推薦可能）

溶接学会奨学賞（九州支部からは、2 名の推薦が可能）

[支部にて受賞者決定、本部から副賞など授与]

溶接技術奨励賞及び溶接技術普及賞

[支部表彰]

（支部奨学賞、支部優秀学生表彰、研究発表会優秀学生講演賞）

(4) 溶接研究会

開催を希望する案件があれば、支部長あてに随時連絡してください。

溶接学会本部の各種委員会、関連学協会の各種委員会との共催も可能です。

【その他】

支部総会開催時期について

本部総会（4 月）に支部活動報告・決算、及び活動計画・予算を提出して承認を得ることを考慮すれば、これらについて支部総会での承認を得たものを本部に提出するのが適切である。

したがって、溶接学会の年度末（2 月）から年度当初（3 月）に書面回議方式で開催するほうが良いと思われるので、商議員会にて検討する。

開催時期を変更する場合、コロナ禍以前に総会で実施していた表彰式は、支部研究発表会の場で実施する方式に変更する。

別紙 1

2022・2023 年度 商議員名簿

1	支部長	後藤 浩二	九州大学	福岡
2	幹事 (総務)	岡田 公一	長崎総合科学大学	長崎
3	幹事 (企業)	緒方 洋典	株式会社 臼杵造船所	大分
4	幹事 (広報)	北村 貴典	九州工業大学	福岡
5	幹事 (教育)	寺崎 秀紀	熊本大学	熊本
6	幹事 (事業)	中村 憲和	株式会社久留米リサーチ・パーク	福岡
7	幹事 (協会)	山口 富子	九州工業大学	福岡
8	監事	秋山 哲也	九州工業大学 名誉教授	福岡
9	監事	安西 敏雄	株式会社 高田工業所	福岡
10		島田 雅博	福岡県工業技術センター 機械電子研究所	福岡
11		高橋 雅士	西日本工業大学	福岡
12		谷野 忠和	久留米工業高等専門学校	福岡
13		中野 正大	株式会社 高田工業所	福岡
14		西尾 一政	九州工業大学 名誉教授	福岡
15		二保 知也	九州工業大学	福岡
16		古川 克彦	山九 株式会社	福岡
17		森園 靖浩	久留米工業高等専門学校	福岡
18		山本 郁	久留米工業高等専門学校	福岡
19		梅谷 拓郎	ヒノデホールディングス 株式会社	佐賀
20		杉村 忠士	三菱重工業 株式会社	長崎
21		松井 正数	三菱重工業 株式会社	長崎
22		安部 正光	日立造船 株式会社	熊本
23		外本 和幸	熊本大学	熊本
24		河津 英幸	三井住友建設鉄構エンジニアリング株式会社	大分
25		鳥越 清	宮崎県溶接協会 相談役	宮崎
26		瀬知 啓久	鹿児島県工業技術センター	鹿児島
27		東 雄一	鹿児島工業高等専門学校	鹿児島
28		津村 卓也	沖縄工業高等専門学校	沖縄
29		羽地 龍志	沖縄県工業技術センター	沖縄
30		松田 昇一	琉球大学	沖縄

商議員の役割

溶接学会九州支部の活動における重要事項について、審議・諮問する。

商議員会幹事・監事の所掌

幹事

- (総務)：会務全体に関し、支部長を補佐する。
- (企業)：九州支部の活動において企業との連携が必要な案件を担当する。
- (広報)：支部 Web サイトの維持管理等の広報案件について担当する。
- (教育)：会員に対する教育活動について担当する。
- (事業)：九州支部として実施する独自事業について担当する。
- (協会)：日本溶接協会九州地区検定委員会との連携全般を担当する。

監事： 必要に応じて溶接学会九州支部の財産や業務執行状況を監査し、総会に報告する。

別紙 2

商議員選挙内規

2004年 7月 16日 制定
2020年 7月 10日 一部改訂
2022年 5月 27日 一部改訂

第 1 条 商議員選挙の選挙管理者は支部長とする。

第 2 条 商議員の総定数は 30 名とする。
ただし、当該期中に欠員が生じても補充は行わない。

第 3 条 商議員は溶接学会の正会員（個人会員）である必要がある。

第 4 条 商議員の選出方法は以下による。

- (1) 商議員候補者の所属組織を県別に分類し、各県から最低 1 名の商議員を得票の多い順に選出する。（合計 8 名）
- (2) 残り 22 名のうち 12 名は所属県に関わらず得票の多い順に選出する。
- (3) 次期支部長は、上記（1）と（2）による選出者による協議により決定する。選挙実施時の支部長は本協議に対して助言することができる。
- (4) 残りの商議員について、最大 10 名を次期支部長が指名する。
なお、必ずしも 10 名を指名する必要はない。
次期支部長は、候補者の所属機関が分類される県からの選出数や、商議員候補者の所属機関の属性（学校や公設試のような中立機関、企業）に偏りが生じないように配慮する。
- (5) 商議員が全員確定した後に、支部長は商議員会幹事を決定する。

第 5 条 商議員選挙内規改訂に際しては、商議員会において出席会員の 3 分の 2 以上の同意を得なければならない。